

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	資格検定講座2(ニュース検定)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	加藤 裕史	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
社会人基礎力教育の一環として、主体的かつ能動的な学習ができるようになる。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験の点数70% 出席点20% 提出物・受講態度点10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
PC、プロジェクター、配布資料 映像資料						
《授業外における学習方法》						
随時、授業の最初に前回授業内容に係わる確認問題を実施するので、復習しておくこと。 日々の自宅学習に習ったことを反映させて欲しい						
《履修に当たっての留意点》						
卒業後に社会の一員として有意義に働く事ができる人材を育成することがこの授業の狙いです、この授業を通じて様々な事を学びましょう。積極的な受講態度が望ましいです。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	政治分野について説明できるようになる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。	
		各コマにおける授業予定	民主主義の根幹である選挙制度について理解を深め模擬問題を解答することができる。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	政治分野について説明できるようになる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。	
		各コマにおける授業予定	日本国憲法の改憲論議についての理解を深め模擬問題を解答することができる			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	経済分野について説明できるようになる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。	
		各コマにおける授業予定	日本経済を語るうえで必要な知識を十分に理解を深め模擬問題を解答することができる			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	経済分野について説明できるようになる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。	
		各コマにおける授業予定	世界経済の仕組みを語るうえで必要な知識を十分に理解を深め模擬問題を解答することができる			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	経済分野について説明できるようになる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。	
		各コマにおける授業予定	日本の産業構造の変遷を理解し、脱酸素社会の内容についても十分に理解を深め模擬問題を解答することができる。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	暮らしについて説明できるようになる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
	各コマにおける授業予定	超高齢化社会・少子化という現象面から今後の社会保障のありかたに至るまでを十分に理解を深め模擬問題を解答することができる			
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	暮らしについて説明できるようになる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
	各コマにおける授業予定	進みゆくキャッシュレス化など新たな消費生活の仕組みを理解し模擬問題を解答することができる			
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会と環境について説明できるようになる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
	各コマにおける授業予定	共生社会から地球環境問題にいたるまで様々な問題を理解し模擬問題を解答することができる。			
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会と環境について説明できるようになる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
	各コマにおける授業予定	司法と私たちの社会の関わりについて、冤罪事件をテーマに学習し、模擬問題を解答することができる。			
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	国際分野について説明できるようになる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
	各コマにおける授業予定	国連とは先の大戦の戦勝国が中心となって作った国際的な枠組である、形骸化した現在の国連安保理について論じることができるよう知識の理解を深め、模擬問題に解答することができる。			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	国際分野について説明できるようになる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
	各コマにおける授業予定	核兵器の廃絶にむけて我々人類は何をなしてきたのか、これまでの歴史をふりかえり理解を深め、模擬問題を解答することができる。			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの分野のおさらいと、各領域を説明できるようになる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
	各コマにおける授業予定	政治分野・経済分野のオリジナル模擬問題に取り組み解答することができる。			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの分野のおさらいと各領域を説明できるようになる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
	各コマにおける授業予定	暮らし・社会環境分野のオリジナル模擬問題に取り組み解答することができる。			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの分野のおさらいと各領域を説明できるようになる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
	各コマにおける授業予定	国際分野に関する分野のオリジナル模擬問題に取り組み解答することができる。			
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	本番試験前の直前対策で合格点に届くようになる	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
	各コマにおける授業予定	各分野の内容を反映させて作問した問題に自信をもって7割以上の正答を出せるようになる。			